

第 48 回 CMAAO マカオ中間理事会出席（報告）の件

平成 24 年 11 月 8 日から 10 日にかけて、第 48 回アジア大洋州医師会連合（以下 CMAAO）中間理事会が、マカオ特別行政区（中国）でマカオ医師会主催により開催された。

初日の公式晩餐会には、マカオ特別行政区の Lei lon Chin（李展潤）衛生局長、Leong lok Wa（梁玉華）全国人民代表大会代表の他、医療関係団体から計 13 名の要人が出席。冒頭、マカオ医師会 Cheong Lai Ma（張麗瑪）会長の歓迎の辞が述べられた。

議事では、CMAAO の機能を強化する目的で、従来の中間理事会を廃止し、2013 年からは毎年総会として開催することが決定された。目的は、アジア大洋州域内の医師会の情報交換と連携を図り、時宜に適った決議を行い、世界医師会（WMA）とも一層緊密な活動を行うことにある。

さらに、中間理事会終了後、香港医師会主催による懇談会が香港医師会内で開催され、日本医師会、インドネシア医師会、ミャンマー医師会が出席し、友好を深めたことが特筆される。

1. 期 日：平成 24 年 11 月 8 日（木）～10 日（土）
2. 場 所：マカオ特別行政区、中国
3. 出 席：横倉会長（CMAAO 理事）、羽生田副会長、石井常任理事（CMAAO 事務総長）
（随行）能登国際課長、鶴岡審議役、村田真一弁護士（CMAAO 法律顧問）
4. 参 加：加盟 13 医師会、46 名（欠席 5 医師会）
日本、インド、インドネシア、香港、韓国、マカオ、マレーシア、ミャンマー、
ネパール、フィリピン、シンガポール、台湾、タイ
（欠席）オーストラリア、バングラデシュ、カンボジア、ニュージーランド、
スリランカ、
5. 日 程：11 月 8 日（木）公式晩餐会
9 日（金）理事会全体会議、カントリーレポート
10 日（土）シンポジウム「悪性疾患の現状」
6. 内 容
（1）主な議事

1) CMAAO 事務総長報告（石井常任理事）

石井常任理事が、CMAAO のプレゼンスを高めるべく、CMAAO 事務総長の肩書きの下で行ってきた 1 年間の活動内容を報告した。主な活動は、6 月、韓国医師会主催 DRG 導入に関するシンポジウムにおける講演。8 月、第 20 回 IPPNW 世界大会における講演。9 月、医の倫理に関する UNESCO 国際会議出席、WHO 西太平洋地域委員会参加。10 月、WMA バンコク総会に出席等。

2) カントリーレポート（各国医師会活動報告）

日本医師会からは、本年 3 月 10 日開催の「JMAT に関する災害医療研修会」、11 日開催の医療政策シンポジウム「災害医療と医師会」における議論及び今後の方向性について石井常任理事が下記内容の報告を行った。

災害医療連携には、各地の情報を相互に共有し、対策に役立てること、そして研修プログラムの構築とそのコンテンツの平準化と共有化によって各国医師会がそれぞれの地域で臨床医の対応能力を高めること、そのコンテンツを基本としながら行政と対応していくことが大切である。大地震と津波、原発事故から学んだことは、いかに準備がよいと思っても、想定を超えた状況は常に起こり得るということ。日本は、今回の事故の事後検証と教訓を明確化して世界に発信していく責任があり、地域及び地域医療に深く関与して来た日本医師会もその果たすべき職責を負っている。

3) 新規加盟申請：なし

9月、石井常任理事がハノイにおけるWHO西太平洋地域委員会に出席。期間中にベトナム医師会を訪問し、事務総長としてCMAAOへの加盟を打診した。

(2) 主な討議事項

1) 今後のCMAAO総会に関する提言

2011年の第27回CMAAO台湾総会において、国際機関としての機能および地位について、WMAと並ぶ高い水準を実現すること、効果的な政策を通じて、医師の専門性および独立性を擁護することを運営改善の目標として、隔年の中間理事会としての開催を今回で最後とし、2013年からは毎年総会として開催することが提案された。

本年7月、総会としての具体的なあり方を検討するため、日本医師会、韓国医師会、台湾医師会が福岡で作業部会を開催し、草案を取りまとめた。この草案を元に、今回の中間理事会で議論が行われ、毎年の総会開催が承認された。

議論では、横倉会長が、総会における武見記念講演について言及。武見太郎元日本医師会長のCMAAO設立主旨及び発展に係る貢献を紹介した。さらに、国際保健に多大なる影響を与え、ハーバード大学がその功績を称え設けた武見国際保健プログラムでは、すでに250名の専門家を輩出し、国際保健の第一線で活躍をしていること、その武見プログラムが、来年、設立30周年を迎えることを述べた。そして、今後の総会における武見記念講演のテーマ及び演者については、開催国医師会が石井事務総長、日本医師会の助言の下で決定する方向性を示唆した。

2) 財務報告書のあり方について

CMAAO役員、財務委員会委員、アドバイザーにより、財務報告書の事前確認を行うことが決定された。

3) 将来の会合の開催地

2013年：第28回CMAAOインド総会

テーマ案：「児童虐待」「医師のストライキ」「災害医療」

2014年：第29回CMAAOフィリピン総会

2015年：第30回CMAAOミャンマー総会（予定）

その他、ネパール医師会から今後の総会の開催意向が示された。

(3) シンポジウム

テーマ：悪性疾患の現状

各国医師会のがん治療の実態報告があり、日本医師会からは、羽生田副会長が日本におけるがん対策について講演した。内容は、日本のがん対策は、2007年に施行された「がん対策基本法」に基づき計画的に推進されてきたが、本年6月、5年間の成果を踏まえ、基本法が改定されたことに言及。今後5年間の重点課題として、働く世代や小児へのがん対策の充実も新たに盛り込まれたこと等を紹介した。また、日本医師会として、「がん対策推進委員会」を設置したこと、その他、かかりつけの医師によるがん検診受診勧奨用の様々な資料の配布や、政策決定の過程において意見を反映させるべく、国のがんに関する様々な検討会に参画していること等を述べた。

7. その他

・11月10日（土）香港医師会主催懇談会

マカオにおけるCMAAO中間理事会終了後、香港医師会主催による懇談会が香港医師会内で開催され、日本医師会、インドネシア医師会、ミャンマー医師会が参加し、友好を深めた。